奈良日独協会インフォメーション



Verkehrsberuhigter Bereich (Marktplatz, Schwäbisch Gmünd)

Neues in Nara

Nr.76 2021年7月2日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会(会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

http://www.daianji.or/jdgn/index.html

編集: 林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp) 峯本 (hmine-24`m3.kcn.ne.jp)

編集委員より:会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています!

●行事予定

1. 2021 年度(令和3年度)奈良日独協会総会

コロナ禍のため書面決議の結果、すべての議案が原 案通り承認、可決されました。

2. ビア・アーベント(当初予定7月24日)は、中止します。

●お知らせ

1. 中袮勝美さん(理事)から

以前、シュタムティッシュでもお話させていただいた、フランスのシンガーソングライター、バルバラの「独仏和解の歌」として知られる「ゲッティンゲン」とその周辺事情について、白水社から出ている月刊誌『ふらんす』に、コラムの連載を4月から始めました。連載は9月号までの6回の予定で、連載のタイトルは「ドイツから見たバルバラ」です。

2016年には、ゲッティンゲンで「バルバラ 1964年」と題する特別展が同市の市立博物館で半年間開催されました。



ゲッティンゲンのラジオ局から インタビューを受ける

2. 藤澤一夫さん (会員) から 「交通弱者を守るドイツ」

勤務の関係で2度目のドイツ滞在が始まったばかりの時のことです。マイカーの前方に、見たこともない道路標識(左上写真参照)を認めました。私は「うかつに入るとヤバイ」と思い、進入を控えました。後で調べると、この標識は「Verkehrsberuhigter Bereich(交通静穏化区間)」を示すとのこと。

「Verkehrsberuhigter Bereich(交通静穏化区間)」では車の通行は許されますが、いつでも止まれるように「人の歩く速度」以下に抑えなくてはなりません。一方、歩行者は道幅全体を自由に使えます。徹底した歩行者優先です。ドイツがこの方式を導入したのは1976年。今ではEU各国に普及しています。ドイツの市街地にはこの外にも歩行者専用道や「ゾーン30」などが広く行き渡り、歩行者の安全が守られています。そのせいでしょうか、2019年の人口百万人当たりの歩行中の交通事故死者数は日本の11.4に対してドイツは5.0です。私はその後も長年ドイツに住みましたが、ドイツの「ゆっくり走行」に惹かれました。だから速度規制の緩い日本で運転する時も歩行者を追い越すときは、心の中で「失礼します」と言いながら歩く速度で進むことにしています。

●会員だより

水野惠理子さんより

「マヌエラ先生のドイツ語会話教室」

奈良日独協会のドイツ語会話講座は春、秋、冬の3期に各12回、毎週火曜日午前中に開催されています。Aクラス(入門コース)とBクラス(応用コース)、各クラスだいたい6~7名が在籍しており、平均年齢は・・・マヌエラ山根先生が引き下げて下さっています。会場は近鉄奈良線学園前駅そばの奈良市西部公民館ですが、新型コロナウィルスが蔓延し始めた昨年春以降公民館も使用できなくなり、ZOOMを使ってのオンライン講座になっています。

オンラインでのドイツ語会話教室、意外と違和感なく、マヌエラ先生の楽しい授業が毎回楽しみです。授業では、まず初めに"etwas Neuigkeiten"(何か新しいこと)と、最近1週間にあったことを聞かれます。日常の一コマでいいのですが、これがなかなか出てこない。もちろん日本語はNGです。最近ではコロナワクチンの接種申し込みの話や、母の日に息子さんからお花のプレゼントをもらった話、そして家事の話にも発展します。日本の男性は家事を分担する?ドイツでは?マヌエラ先生のコメントは貴重な生の情報です。テキストは鎌田タベア、柳原伸洋著「日本人が知りたい ドイツ人の当たり前」(三修社)を使っています。先日は"Lakritz"のお話一有名なHARIBOにもあるカンゾウから作られた真っ黒なグミのようなもので、日本人の口には合わないようですが、ドイツ北部では好んで食べられるそうです。



Zoom ミーティングの模様



2015 年の奈良オクトーバーフェストにて (マヌエラ山根先生と水野さん)